

資料(Data)

中学校における学級活動「話し合い活動」の導入 に関するアクションリサーチ その2

——授業分析と質問紙調査の基礎データ——

**Introducing class discussion into junior-high school classes:
An action research study II: Basic data of the lesson analysis
and questionnaire survey**

山田 真紀*
YAMADA, Maki*

1. 本報告の目的

この報告は、本紀要に掲載された原著論文「中学校における学級活動“話し合い活動”の導入に関するアクションリサーチ」¹⁾を補完する基礎データを紹介するためのものである。上記の論文では、これまで中学校では、「学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画」において、学級会型の話し合い活動を行ってこなかった歴史的経緯を踏まえ、関西圏にある公立A中学校において、学級会型の話し合い活動を実践してもらい、①話し合いの実践の前後に生徒を対象とする意識調査を実施して、中学生の話し合い活動に対する構えを明らかにし、話し合いを通じて意識がどのように変化するかを分析するとともに、②学級会型の話し合い活動の授業分析を行うことで、初期にはどのような課題に直面するのか、それを克服するためにはどのような指導が望ましいのかについて考察を行った。そのなかで、紙幅の都合上、省略せざるをえなかった3つの情報、①2つの話し合い活動の授業分析、②話し合い活動の前後に行った質問紙調査の調査項目、③質問紙調査から得られた基礎データについて、紹介していきたい。

2. 話し合い活動の授業分析

初めての学級会型の話し合いの議題は「1年間一緒に過ごした仲間と楽しい時間を過ごし、思い出を作る」ことを目的とし、「クラスレクを企画しよう」に定め、1年生と2年生の全クラスで合意形成を目指す話し合い活動を実践することになった。そのうち、1年C組と2年B組において話し合いの様子をビデオ撮りし、山田・清水の開発した授業分析の手法²⁾を援用して、授業分析を行った。

山田・清水の開発した授業分析の手法とは、「逐語訳の作成」「分節分析」「シーケンス分析」の3つのプロセスを踏むことで、子ども達の自由な発想により広がっていく予測不可能な話し合いの展開のなかに、子ども達が用いている論理と、話し合いの構造を見出し、客観的データに基づきながら当該の話し合い活動の優れた点と改善点を指摘できるというものである。しかしながら、逐語訳を作成するだけでも膨大な時間と

労力を要するうえ、さらに分節分析とシーケンス分析を施すとなると、研究のプロセス自体に過重な負担感が生じることになる。そこで、本研究では、「分節分析」を中心に研究手法を簡略化し、分節同士の関係性や議論の流れを大切にしつつ、話し合い活動の全体像が読み手にも再現可能になるような情報を表形式にまとめていく方法を用いることにした。表1が1年C組、表2が2年B組の分節分析用の表である。

この分節分析用の表には、左端に「分節番号と場面と継続時間」が記されている。分節とは、同じ話題に属する発言のかたまりをさし、話題や場面が変わるごとに番号を振りなおしていく。分節番号とともに、その分節の概略を記し、それぞれの分節の継続時間も記入する。表の中央は、逐語訳である。できるだけ詳細に生徒や教師の発言内容を文字起こしし、記入するとともに、音声データには現れない状況や環境についての説明を【 】内に記した。そして表の右端は「コメント」欄であり、研究者の気づきを自由に記入することで、後の分析の道しるべになるようにした。

表1 1年C組の分節分析表

分節番号と場面 と開始時間 (継続時間)	逐語訳 【 】内は状況説明	コメント
1. 開始場面 00分00秒 (4分15秒)	<p>【4人の生徒が前に出ている。チャイムが鳴る】 司会：これからクラスミーティングを始めます！ 起立！ 気を付け！ 礼！ お願いします。【着席】 今日はクラスの意見を出し合って、意見をひとつに まとめます。司会グループの紹介をします。司会の Aです。 B：指名係のBです。 C：黒板係のCです。 D：ノート書記のDです。 司会：今日の議題の確認をします。議題は「学級レ クを計画しよう」です。提案理由は「1年間一緒に 過ごした仲間と楽しい時間を共有して思い出を作り たいから」です。決まっていることは「準備とふり かえりの時間を合わせて50分。実際に活動する時間 は35分。教室でやるということ」です。最初は「何 をするか決めよう」をして、次に「どんな工夫をす ると楽しいか考えよう」です。話し合いのルールは、 意見をいうときは理由をそえる、やりたくないとか 否定的なことをいわない、相手の意見を否定した ときは対案を示す、なるべく多数決を使わないで みんなが納得できる意見にまとめる、です。目標は、 ひとり1回以上意見を出すのと、意見を出したら拍 手をするです。 司会：初めに何をするか決めましょう。班で話し 合って、班で意見をひとつにまとめて、班長さんは、</p>	シナリオに沿って 上手に進めること ができています。

	理由をそえて発表してください。話し合いの時間は5分です。班の形になって話し合いを始めてください。 【司会班もグループに戻る】	
2. 柱1の班での話し合い 4分15秒 (5分30秒)	【2班の話し合いの観察】活発に班で意見を出し合う。はじめにハンカチ落とし、椅子取りゲーム、フルーツバスケット、なんでもバスケットが候補として出るが、「負けになる子がでない方がいい」という理由から、さらに考える。そして「全員できるゲームがいい」ということで、王様ゲーム、人狼、リーダー探しなどの案が出る。「35分間以内だったら1つじゃなくても何個でもできる。」「どれにしぼる?」「班での意見ではなんでもバスケットにして、あとは個人の意見として手をあげていえばいいじゃん。」「じゃあ、私がリーダー探しうね。理由をつけなきゃいけないやん。リーダー探しは全員で楽しめる、でいいな。」	班内で意見を出す人が偏っているが、いろいろな意見が出る。どの班も概ね熱心に話し合いをしている。 遊びを決めるうえで「負ける子がいない」「全員で楽しめる」という基準を明確にできた。
3. 班の意見を出す 9分45秒 (5分25秒)	【司会が個人的な質問に対して】班の意見はひとつだけ、あとから手をあげて、個人で意見をいうのはいい。 【司会班が4人、黒板の前に立つ】 司会：それでは時間になりましたので、話し合いをやめてください。1班から決まった意見を発表してください。え？1班、まだ？じゃあ、あとでね。 2班：リーダー探しで、理由はみんなで楽しむことができるからです。(拍手) 3班：パス！ 4班：なんでもバスケットです。理由は楽しいし、準備や後片付けも簡単だからです。(拍手) 5班：(司会：早くして!)宝探し。みんなで楽しめるからです。(拍手) 6班：ロバクゲーム。理由はみんなで協力できるからです。 3班：ひなたぼっこで、理由は、日ごろの疲れやストレスを癒したいからです。(フロア：え？教室だよ?)カーテンをあけて、教室の床で寝ころべばいい。(司会：あれ？拍手は?)拍手 司会：1班。【拍手うるさい】ちょっと静かにして！ 1班：チチチドカン。みんなで楽しく遊べるからです。【黒板書記が書き終わるまで45秒間待つ】	黒板書記が書き終わるのを待ちながら、班長に発言を求めるので時間がかかる。 黒板書記は理由も書く(時間がかかるので省略する) 班長が発表するたびにフロアが口々に感想をいうので、ガヤガヤしている。(中学生の自然な姿で個人的には好ましく感じられるが、秩序の乱れと感じる者もいるだろう。ガヤガヤで実際にダレた感じになる生徒もいる。)
4. 比べ合う時間 15分10秒 (9分40秒)	司会：これらの意見について賛成意見や反対意見はありますか？ 男子：ひなたぼっこです。楽しくないと思います(笑)。【フロアも口々に感想をつぶやくので全体ガヤガヤ】 黒板書記：これも書くの？(戸惑う様子)	比べ合いで、否定的な意見を積み上げてしまった。肯定的な意見を積み上げた方がいい。結局、「ひなたぼ

男子：ひなたぼっこです。そんなことに時間使うんやったら、もっと楽しい使い方があると思います。
3班：なんなんそれ！ いってみい！（拍手）【ガヤガヤ】

指名係：この意見（ひなたぼっこ）は反対意見が多いので、この案は消していいですか。消してもいいと思う人は拍手してください。（拍手多数）

【黒板係がひなたぼっこの上に字消し線を引く】

指名係：他に意見はありませんか？

3班男子：ビンゴ！

指名係：ええ？？ あ、個人の意見だから、下に書いておこう。え、理由は？

3班男子：楽しいから。

司会の女子：ね～ね～、いいなよ。【ガヤガヤ。司会の女子は2班の女子に向けて働きかける。ちょうど個人の意見が出るから、さっきのアイデアを言って欲しかったようだ】【それぞれの班で感想など口々に述べていてガヤガヤしている。司会班の司会が停滞するとガヤガヤレベルがあがる。先生は個別によい意見をつぶやいている生徒のそばにいき、「それ手をあげていってみなよ」と促している】

【間】

指名係：このなかで賛成意見や反対意見があったら教えてください。【フロアでは〇〇は反対だな～などと個人的に意見をいっているが、手をあげて発言にはいたらない。ガヤガヤ時間が続く】

【間】

【5班の男子が挙手】5班の宝さがしに賛成です。

司会：理由は？

男子：え、理由？ 景品もあるし～。【「え～あるんや～」という喜びのざわざわ。「でも、お金どうするん？」「え、T先生。T先生が出してくれる？」「T先生、ありがとう！」みんなで拍手。「景品って何がもらえるの？ 吉本のチケットくらいもらえるの～（笑）」】

司会：拍手をお願いします（拍手）【司会も前列の子としゃべってげらげら笑っている】

【間】

男子：ビンゴだけやったら35分ももたないので、何かと組み合わせたらいいと思います。

全体：はい、オッケ～！（拍手喝采）

フロア：「それか、家帰る～」 「いいね～」【がやがや】

司会：それやったら何と合体したらいいと思いますか？

男子：ビンゴが終わったら、家に帰ります。

っこ」を否定する意見が2つ出て消去することに（少数意見の抹殺ともとれる）。

班でひとつのアイデアに合意形成することになっていくが、生徒の一部は、班で1つの他、個人意見もつけたしてもよいと理解していた。もし後者ならば班の意見を出した後に個人意見のつけたしの時間を設けるべき。

複数出た意見をどう集約していけばいいか司会班も戸惑っている様子。意見も出ないし、司会は停滞する。するとガヤガヤレベルがあがる。

先生は介入しないように努力されている。しかし意見が活発に出るようには腰を落としながら個別に働きかけをしている。

「今何の時間なんだろう」という空白の時間ができ、司会が停滞している。生徒は挙手せずに口々に意見を述べるのでガラガラ、ガヤガヤした印象になってしま

	<p>全体：え～，(笑)【司会も苦笑】 男子：ピンゴが終わったら，このなかで人気のあるものをやればいいと思います。(拍手) 司会：他に意見はありませんか？ 男子：合体するんやったら，宝探しが賛成をもらっているんで，宝探しと合体すればいいと思います。</p>	<p>う。 ミニ井的提案！</p>
<p>5. 合意形成 24分50秒 (12分45秒)</p>	<p>【女子が先生に自分の意見を伝える。先生は「それいける！ みんなに言ってみて！」と背中を押す】 女子：え，え，え……なんて言ったらいい？ 誰か：お～い，指名係【4班で誰が発言するべきかもめている。指名係より別の女子が指名される】 女子：宝探して，あそこに書いてある遊びを紙に書いて，それを教室のあちこちに隠して，最初にみつけた紙にかいてある遊びをするっていうのはどうですか？ 教室：お～～！ ナイスナイス。そうしよう。(拍手) 【フロアは「え，どういうこと？」という生徒も少なくない。周囲が説明する。ガヤガヤ】【司会がふたりとも後ろを向き，黒板書記の書いている姿を見ていて，司会が停滞する】 司会：それでは，チチチドカンとリーダー探しと，何でもバスケットと口パクゲームは全部消してもいいですか？【司会が意見を理解できていない】 教室：ええ～？！？！ そしたらRちゃんが言ったのはどうなるんですか？ 司会：全部を合体させたってことじゃない？【司会が司会に説明する。黒板をどのように板書するかもめている様子。1分くらい停滞する】 女子：さっきのRちゃんの意見に賛成です。なぜなら，みんなが出してくれた意見を生かすことができるからです。(拍手) 司会班：とまどいながら，じゃあ，この意見でいいですか？ 男子：質問いいですか？ 宝探しはいつやるんですか？ 女子：だから，レクの日にはじめに誰かが隠しておいて，それでやったらええんちゃう。 司会：それでは，この意見でいいですか？ いいと思う人は拍手してください。(拍手) 男子(座ったまま)：100円くらいならなんとかなるらしいぜ。 司会：(先の男子の声を遮るように大きな声で)これに賛成な人は拍手してください！！(さらに大きな拍手)。じゃあ，これで決まりでいいですか？ 男子(座ったまま)：先生，うまい棒，10本くらい……(笑)あとウルトラマンのお人形とか欲しいな</p>	<p>司会が停滞してガヤガヤする。黒板書記が書き終わるのを待つのがひとつの原因。黒板書記に任せて「この意見に対して，さらに意見がある人はいませんか」と意見を促すことが必要。司会も場数を踏むと上手になる。 カツカレー的提案！ 素晴らしい折り合いの意見が飛び出す。 司会班がカツカレー的提案の真意を捉えられない。 賛成意見を出すことで，合意形成の後押しをしている。 司会の大きな声で反対意見が言にくい雰囲気になる。</p>

	<p>(笑) 先生：じゃあ、ウルトラマンもってきたら、おまえ、絶対、それで遊べよ！ 教室：笑い 司会：じゃあ、紙に書く遊びを考えてください。 女子：ちがうちがうちがう！ そこに書いてある遊びを紙に書くの！ 司会：じゃあ、ビンゴは消していいですか？ いいよ 男子：え〜〜〜（隣の男子）いいたいことがあれば、いえばいいじゃん。 男子：え〜〜〜、言うこと忘れた。 男子（挙手して）じゃあ、はい！ もう少し遊びを増やしたほうがいいんじゃないですか？ 男子：椅子取りゲーム。（黒板書記書く） 【間】 司会：先生……【先生がかけよって、作戦タイム。3分10秒の間が生じた。他の生徒はおしゃべりをして待っている状況】 【間】 司会：この遊びでいいですか？ 女子：(大声) いいと思いま〜す！！（拍手） 司会：それでは2番目の話し合いに移りたいと思います。学級レクでどんな工夫をしたらよいと思うか、班で話し合ってください。あとで班長に発表してもらいます。話し合いの時間は5分間です。【司会は疲れた表情である】</p>	<p>なぜビンゴが消されてしまったのか理解できない。</p> <p>担任の援助の仕方として「司会が困っていることや心配なことがあるなら、みんなに向かっていって見てごらん」と開示させたほうがよかった。作戦タイムがどうしても必要な場合は「ここまで決まったことについて隣の人と感想や意見を交換しててください」とペアトークを導入する。</p>
<p>6. 柱2の班の話し合い 37分35秒 (5分00秒)</p>	<p>【2班の話し合いの観察】 文句を言わない、とかでいいんじゃない……。【しばらくうだうだ。先生に工夫を考えるんだよ、と声をかけられて、急にやる気になる】「音楽かけるのと〜飾り付けしよ！」「いいやん、めっちゃ〜！」「壁にたくさん折り紙とかはりつけて。ひとりいっこ以上は折るとかにして」「窓から光がはいらないように、幕とかはるといいよね。習字の下敷きをみんなの分、窓にはりつけて、電気つけたらいい感じじゃない？」「黒板に絵を描くだけでもいいよね」「あ〜いいやん、いいやん」（意見をメモ帳に列挙していく）「音楽は何かける？ アンケートする？」「ゆっくり系の方がいいか元気系のほうがいいか」「じゃあ、体育祭のときにかけた曲でいいんじゃない？ あと合唱コンクールときの歌ったトゥモローとかさ。そうしたら思い出も振り返れるじゃん」「いいね〜〜！！」</p>	<p>柱1の班の話し合いよりも生徒のコミットの差が激しくなる。2班も女子ふたりだけが意見を出し合い、男子は上の空。ひとり寝てしまった。班の話し合いでは班長が司会をするという責任意識をもたせるとよい。</p>
<p>7. まとめとふりかえり 42分35秒</p>	<p>司会：それでは、決まったことの確認をします。学級レクは宝探しです。【「あれ？ 工夫については出し合わないのかな？」とガヤガヤする】宝探しをす</p>	<p>柱2の話し合いは後日にすることを伝えるべきであった。</p>

<p>(7分25秒)</p>	<p>ることに決まりました。 先生：ええ？ ちょっと待って？ 宝探しをしながら、遊ぶものを決めるんやな？ 司会：はい。 先生：あ、わかりました。(全体拍手) 男子：宝探しじゃなくて、遊び探しやな。 フロア：あ～、なるほど～ 司会：今回のクラスミーティングでは、意見に理由をつけられたところがよかったと思います。 フロア：え～もう終わり？ 2番目のやつは？ 先生：はい、2番以降は、この時間ではちょっと難しいんで、今、班で考えてもらったアイデアを後日、出してもらいます。 司会：もっと発表する人が増えたら、もっとよくなると思います。これでクラスミーティングを終わります。ありがとうございました。(拍手) 先生：はい、ありがとう！ そしたら、今日、クラスミーティングをやってみただけけど、みんなが感じたことをちょっと書いてみてほしいねん。表面は○をつける。裏面には今日の話合いで感じたことを自由に書いてください。今日は司会係さんたちが、みんなの意見をまとめようと頑張ってくれました。最後は司会班へのメッセージ。ココの部分は司会班にも読んでもらいたいと思いますので、書いてください。【生徒はアンケートに答える。50分で終了】</p>	<p>生徒が混乱した。 カツカレーの発想による絶妙な名づけ！ 時間切れで柱2までできなかった。これ自体には全く問題がない。今回は柱1で合意形成が果たされた成功体験が大切なため。 50分で終わらせることも大切(だらだらやらない)。 担任が講評で「君たちはすごいことを成し遂げたんだよ」というポジティブな意味づけをしてもよかった。また「意見がある人はつぶやかずに手をあげて大きな声でいえるともっとよい」という改善点も示すとよかった。</p>
----------------	---	--

表2 2年B組の分節分析表

分節番号と場面 と開始時間 (継続時間)	逐語訳 【 】内は状況説明	コメント
1. 開始場面 00分00秒 (2分45秒)	<p>【チャイム】</p> <p>司会：これからクラスミーティングをはじめます。起立！【全員起立】気を付け！礼！</p> <p>全員：お願いします！【全員着席。生徒は生活班の形になっている。黒板の前には、司会の女子1名と黒板書記の男子1名が立っている】</p> <p>司会：今日はクラスみんなで意見を出し合って、意見をひとつにまとめます。ひとりひとりの意見を尊重し、積極的に意見を出し合ひましょう。今日のクラスミーティングの司会をつとめます〇〇と〇〇です。よろしくをお願いします。</p> <p>先生：(大きな声で) よろしくをお願いします！</p> <p>司会：今日の議題を確認します。今日の議題は学級レクを計画しよう、です。提案理由は1年間一緒にクラスで過ごした仲間と楽しい時間を共有して、思い出を作りたいからです。クラスミーティングの前に決まっていることの確認をします。時間は50分、準備とふりかえりの時間を除いて35分。場所は教室、飲食はできない。全員が楽しめるということです。この時間に話し合うことは、何をするか決める、どうしたら楽しめるかを決める、準備のための役割分担を決めるです。話し合いのルールを確認します。意見をいうときには、手をあげて、指名係……【黒板書記の男子と「これ指名係って司会がやればいいよね」と確認】、意見をいうときには必ず理由を添える。やりたくないとか意見を否定しない。否定的な意見をいうときには必ず対案をそえる。できるだけ多数決を使わない【黒板書記が前列の男子に手伝ってもらいながら、話し合いのルールの紙を黒板にはる】。この他に、これまで学級や班で話し合いをしてきたなかで、こういうことを意識したり、注意したらもっとよくなるんじゃないか、ということを班で話し合い、ひとつ追加したいと思います。それではこれから3分間とりますので、班で話し合ってください。【司会がタイマーで3分間測る】</p>	スムーズな出だしだが、指名係のくだりで、司会原稿の練習がなされていないことが露呈する。先生を含めた計画委員会で議題の確認をする際に、一度、練習しておくとはスムーズである。
2. 柱1「話し合いのルール」班での話し合い 2分45秒 (3分15秒)	2班の話し合い：教室でおにごっこする？ かくれんぼしようか。【先生が来る】先生：今は何やるかじゃないよ。話し合いのルールにあと一個追加したらもっとうまくいくやろ、っていうことを班で話し合うんだよ。女子：ちがうや～ん。……じゃあ、全員しゃべる。全員が意見を言うってのは？ 班長のい	

	<p>うことを聞くってのは？ 喧嘩しないってのは？</p> <p>【司会：あと1分だよ】。人の話を静かに聞く。人にちょっかいをかけない【司会：残り30秒……司会：残り10秒】ピピピピ</p>	
<p>3. 柱1「話し合いのルール」班での話し合いの結果の発表</p> <p>6分00秒 (2分20秒)</p>	<p>司会：それでは時間になりましたので、話し合いをやめてください。1班から発表してください。</p> <p>1班：決まったことに文句を言わない。</p> <p>先生：大事なな～。</p> <p>司会：2班お願いします。【ガヤガヤ】</p> <p>先生：ちょっと、ごめん！ 静かに！</p> <p>2班：ちょっかいを出さない。</p> <p>司会：3班お願いします。</p> <p>3班：少数派の意見も尊重する。</p> <p>司会：4班お願いします。</p> <p>4班：……（聞こえない）</p> <p>司会：え？ もう一度お願いします。</p> <p>4班：発表する人の話をしっかりと聞く。</p> <p>司会：5班お願いします。</p> <p>5班：話をしっかりと聞く。</p> <p>司会：6班お願いします。</p> <p>6班：大きな声ではっきりという。</p> <p>司会：これらの意見について賛成意見や反対意見のある人は手を挙げていってください。【沈黙】</p> <p>司会：えっと、A君、何かありませんか？</p> <p>A君：これ、全部、いいと思います。</p> <p>司会：これ全部をまとめて、ひとつにしていきたいと思しますので、1分間とりますので、これらをまとめるために1分間とりますので、お願いします。【タイマーをかける】</p>	
<p>4. 柱1について再度班で議論</p> <p>8分20秒 (1分00秒)</p>	<p>2班：【特に意見は出ない】</p> <p>女子：え、決まったことに文句をいわず、ちょっかいせず、少数意見も尊重しながら、話をしっかりと聞いて、大きい声ではっきり意見をいう、やな。（機械的に全部繋げる）</p>	
<p>5. 柱1について再度全体で議論</p> <p>9分20秒 (4分30秒)</p>	<p>司会：それでは1班から意見を出してください。</p> <p>1班：自分の言いたいことだけ言わず、他の人の意見も付け足す。</p> <p>司会：2班お願いします。【黒板書記が何と書けばいいか戸惑う。もう一度、1班が大きい声で発表しなোস】</p> <p>2班：文句をいわず、大きい声で、少数意見も大切にしながら、しっかりと意見を聞きながら、自分の意見をいう。</p> <p>司会：3班お願いします。</p> <p>3班：それぞれの意見をしっかりと聞く。</p>	<p>追加ルールを1本化するための合意形成は難しい。何を根拠に折り合いをつければよいか不明なため。ここは、個人でルール（目標）を定めさせ、学級会ノートに書かせるか、班でルール（目標）</p>

	<p>司会：4班お願いします。</p> <p>4班：発表者の意見をしっかり聞き、少数派の意見にも耳を傾ける。</p> <p>司会：4班、もう一度お願いします。</p> <p>4班：発表者の意見をしっかり聞き、少数派の意見にも耳を傾ける。</p> <p>司会：5班お願いします。</p> <p>5班：人の意見を否定しないで、しっかりと聞く、です。</p> <p>司会：6班お願いします。</p> <p>6班：大きな声ではきはきと話し、少数派の人の意見も聞く。【黒板に意見を書いていく】</p> <p>司会：これらの意見で、賛成と反対の意見のある人は手をあげて発表してください。S君、何かありますか？</p> <p>【沈黙】</p> <p>先生：(小声で) 司会で決めちゃっていいよ。</p> <p>司会：それじゃ、全部入れて、人の意見を否定せんとしっかり聞いて、大きな声ではきはきと、少数の意見もしっかり聞くことに決めました。</p> <p>先生：決めたので、しっかり守ってや！ できる？ できる？ 否定意見ないですか？ じゃあ、全部入れてくださいね。</p> <p>司会：それでは、全部入れて、人の意見を否定せんとしっかり聞いて、大きな声ではきはきと、少数の意見もしっかり聞くということをお願いします。それでは、一つ目の話し合いに入ります。</p>	<p>を定めて、全体に向けて発表するだけでよかった。</p>
<p>6. 柱2 クラスレクで何をするか班で議論。 13分50秒 (11分50秒)</p>	<p>司会：クラスレクで何をやりたいか、班で話し合ってください。班の意見はあとで班長さんに発表してもらいます。何をやりたいかとその理由を発表してください。話し合いの時間は5分です。それでは、話し合いをはじめてください。</p> <p>【2班の話し合いの様子】</p> <p>女子1：理由ってなに？</p> <p>女子2：なんでそれをやりたいか、じゃない？</p> <p>【班長が前にホワイトボードを取りに行く】</p> <p>女子：あ、私が書くね。4人組で人生ゲームは？ 4人組にするとふたりあまるよ。連想ゲーム。椅子取りゲーム。</p> <p>男子：あ～、これ知ってる？ 鬼が何かして、みんながオニが分からないようにおんなじことをして誰がオニを当てるってやつ。</p> <p>女子1：あ～あ～、分かる分かる。鬼がこうしたら(拝むポーズ)、みんなもこうするんでしょ？ え？ でもマネするだけ？ 最初にやった人を当てるんやろ。</p> <p>男子1：う～～～ん、めんどくさい、いいや。</p>	<p>班では積極的に案が出る。各班で3分の2の生徒は積極的に話し合いをしているが、3分の1は消極的な様子。</p>

	<p>じゃあ、椅子取りゲーム。 女子1：え～、椅子取りゲーム、おもしろないよ。 男子1：かくれんぼ 女子1：かくれんぼ？ 教室にかくれるところあるの？ 先生：連想ゲーム？ 連想ゲームって何？って聞かれたらちゃんと答えられるようにしとかな、いかなよ。それやろうとしたら50分じゃ、おさまらんでしょ。2時間はかかる。 生徒：今はエープリールフルです（笑）。【ホワイトボードにかいていた3つの案を全部消す】大富豪、大富豪！ ○○寝るな～！ あ！ 居眠り～、日向ぼっこ！ 本読み？ 紙芝居。お芝居ごっこ。性別交代ごっこは～？【男女で実際にやりはじめる】 先生：先生も含めて楽しめること考えてくれる？ ハンカチ落としとか。 女子1：にらめっこ選手権は？【にらめっこをはじめる。女子が白板を書き始める】じゃんけん列車は？ 体育館は無理やろ？ 教室でしょ？【司会のあと45秒という声】 女子1：え～どうする～？【そばに先生がくると】 ねえ、先生、もうちょっと時間を増やしてください。 先生：え？ もっと時間欲しい？ 女子1：まだなんも決まってないもん。椅子取りゲームは余っちゃった人がかわいそうやし。似顔絵選手権。似顔絵書いて、誰だかあてるのは？ だるまさんが転んだ？【ビピビピ】 似顔絵でいいよ！</p>	
<p>7. 柱2「何をしたいか」班の案の発表 25分40秒 (5分45秒)</p>	<p>司会：1班から前に出てボードを貼って、発表してください。 1班：(黒板にボードを貼って) 1班は、班対抗お絵描きしりとりがいいと思います。理由は班で協力できるからです。(拍手) 司会：2班お願いします。 2班：(黒板にボードを貼って) 2班は椅子取りゲームがいいと思います。理由は誰でも楽しめるからです。 司会：3班お願いします 3班：(黒板にボードを貼って) 3班は意見が3つでした。ひとつは伝言ゲームです。理由は聴力を鍛えるためです。2つめは陣取りです。理由はみんなで楽しめるからです。3つ目はジェスチャーゲームです。理由は面白い動きが見られるからです。(拍手) 司会：4班お願いします。 4班：(黒板にボードを貼って) 4班はジェスチャー</p>	<p>理由を添えて班の意見を表明することができた。理由がクラスレクの趣旨と合致するかが選定のポイントになるので、理由をつけることは大切。</p>

	<p>ゲームです。理由はおもしろそうだからです。 司会：5班お願いします。 5班：(黒板にボードを貼って) 坊主めくりです。理由はルールが簡単でみんなで楽しめるからです。(拍手) 司会：6班お願いします。 6班：(黒板にボードを貼って) 6班は映画を見る、エッグドロップ、脱出ゲーム、A先生とB先生のトークです。映画を見るのは、英語を学べるから、エッグドロップと脱出ゲームは班対抗で班で交流できるから、A先生とB先生のトークは人生について考えられるからです。【笑】以上です。 司会：これらの意見を聞いて、反対意見や賛成意見がある人は、手をあげてってください。 先生：今、いつときや〜、意見ある人。 【男子が挙手】 司会：どうぞ。 男子：エッグドロップと脱出ゲームはもう少し詳しく知りたいです。どういうゲームなの？ 先生：いいね！【全体からも「どういうの？」ザワザワ】 6班：エッグドロップは、卵を紙袋とかにいれて、落とすだけです。割れたら終わりです。どうやったら割れずに落とせるかを考えるゲームです。 男子：卵はどうするの？ 6班：それは先生のお金で。【笑】 司会：他にありませんか？ 先生：(挙手) 今回の提案理由、1年間過ごした仲間と一緒に楽しい時間を過ごして、思い出を作ろう」の趣旨に合わない物があると思うので、それはカットしたほうがいいと思います。例えば、伝言ゲーム、聴力を鍛えるため、とか、映画を見るは英語力を鍛えるため、とかは趣旨にそってないから、カットした方がいいと思います。 司会：え〜みなさんは、伝言ゲームと映画を消したほうがいいと思いますか？【ザワザワ】 司会：え〜じゃあ、消します。 男子：否定的な意見をいうときは、対案を示さなきゃいけないんじゃないの？少数派の意見も大切にするんだよね。 司会：苦笑 司会：ファイナルアンサー……じゃあ、一応、残しておきます。【全体：笑】</p>	<p>先生の介入について、複数の案から選定するうえで理由に着目することを伝えることは大切であった。しかし、提案理由と活動の趣旨があっているかどうかを判断するのは生徒に任せた方がよかった。</p> <p>少数意見を大切にすると、案をしぼっていくことには矛盾がある。どう両立させればよいか？⇒理由と活動目的が一致する。少数意見に配慮しつつみんなの納得のできるアイデアを新たに出す。</p>
<p>8.柱2「何をしたいか」再度班で議論 31分25秒</p>	<p>司会：それでは、このなかでどれが一番やりたいか、班で3分間、話し合ってください。 【2班の様子】 女子1：ねねね〜どうする？</p>	<p>それぞれの案の詳細が定かでないため選べない。班で話し合う前に全体</p>

<p>(3分5秒)</p>	<p>男子2：何がいいかな～？ 女子1：絶対考えてないっしょ。(笑) 男子2：脱出ゲームってどこから脱出するのかな？ 男子3：自分の今の環境から脱出するんだよ！ 男子2：そりゃ、無理だ……。 女子1：あのなか(掃除道具入れ)から脱出すればいいんじゃない？ 筆者：さっき、どこから脱出するか聞いてみたらよかったね。あとで聞いてみたら？ 女子1：じゃあ、今、聞きにいったら？ 男子2：え？ 今？ 6班に？(男子が聞きに行く) 女子1：なんだった？ 男子2：ドアを逆にして～、鍵を内側にして、それでそこから出る……。あのドア、今しまっているけれどさ。 女子1：逆に閉めたら、しまってるかどうかわからんじゃん……で、何にする？ あと30秒しかないよ。ピピピ</p>	<p>で疑問点を明らかにしておくべきだった。</p>
<p>9. 柱2「何をしたいか」再度全体で議論 34分30秒 (5分30秒)</p>	<p>司会：それでは時間になりましたので、話し合いをやめてください。それでは1班からいってください。 1班：お絵描きしりとりがいいと思います。(黒板書記がお絵描きしりとりに一票を入れる) 2班：エッグドロップ？(黒板書記がエッグドロップに一票を入れる) 3班：エッグドロップ。(同じ) 4班：エッグドロップ。 5班：坊主めぐり。 6班：先生のトーク。 司会：エッグドロップと坊主めぐりと、A先生とB先生のトークになったので。 【黒板書記が票の入らなかったボードを撤去する。3枚のボードが残る。先生と司会のふたりが黒板前で相談を始める。男子が前の男子に呼ばれて相談。2分間】 司会：えと、静かにしてください…… 先生：はい！ 静かに！ 司会：例えばA先生のトークとかは10分あればいいし、エッグドロップと2つやるみたいに、くっつけることもできますが、どうですか？【ガヤガヤ】 司会：えっと、意見のある人、反対意見のある人はいますか？ 質問でも。【沈黙】 男子：(挙手) エッグドロップをしたら、卵は買うお金とかはあるんですか？ 司会：え、卵って紙に書くんじゃないの？ 教室から口々に「リアルな卵やんね」「生卵！」 「班でひとつずつもってくるのか」「それくらい先生</p>	<p>理由を添えて意見をいっていない。結果的に多数決になってしまった。⇒みながその選択に納得できるような理由を示すことが、折り合いをつけ、合意形成するためには必要。</p> <p>司会が停滞すると「今は何をする時間なの？」とガヤガヤ音量が高まる。</p> <p>司会から「ミニ井型」の折り合いの仕方について提案される。 準備についても考慮のうえ再度議論することを提案。</p>

	が準備してくれるんちゃう？」	
10. 柱2について 再度班で議論 40分00秒 (3分00秒)	司会：用意とかそういうのもよく考えて、もう一度、話し合ってほしいです。3分間。 2班：「A先生、本当に人生について語ってくれるかな」「リアルおままごといいなあ」「リアルおままごとの真似をする」「卵ってすぐ割れるやん。俺、繊細ですから」「組み合わせるっていう案もある」「映像を見たらえんんちゃう？」ピピピピ	準備などの見通しをもった議論にはならない。疲れてきた様子。班での議論ではなく、ペアトークなど、変化をつけるとよかった。
11. 柱2について 再度全体で議論 43分00秒 (7分00秒)	司会：それでは1班からお願いします。 先生：はい、しっかり聞いて！ 1班：お絵描きしりとりと** 2班：A先生のトークとエッグドロップ 3班：** (聞き取れない) 4班：** (聞き取れない) 5班：** (聞き取れない) 6班：A先生のトークとエッグドロップ 【司会が停滞。司会はふたりとも黒板の方を向いている。「ゆで卵でやれば汚れんから」などガヤガヤ】 先生：A先生とB先生のトークって主にどんなことを話してもらおう？ 司会：A先生とB先生のトークって何なんですか？ 6班：人生、進路選択。 【司会の停滞。また黒板を見ている】 男子(拳手)：A先生とB先生は100%来るとは限らない。 6班：ダメならダメでもいい。 司会：他に質問とか意見はありませんか？ 男子：百人一首は班対抗？ 個人戦？【ガヤガヤ】 【先生が前に来て、司会に指示を出す。チャイム】 司会：まだ決まっていらないけれど、この3つのどれかになるので、覚えておいてください。それではこれでクラスミーティングを終わります。	司会が折り合いをつける議論にならず困惑。折り合いをつける議論にするためには、「理由をつけて意見をいう」「つなげる発言をする」ことが大切。理由を戦わせることで納得が形成される。検討された事実が少数意見も尊重されたという納得を形成する。 班での議論を多用しすぎた。全体で各班のアイデアを十分に理解する時間が必要であった。 ペアトークをして、疑問点を出すなども効果的。

原著論文では、この分節分析表を用いて、ふたつの話し合い活動の優れた点、および共通する問題点について考察することができた。

3. 話し合い活動の前後に行った質問紙調査から得られたデータについて

この実践研究においては、話し合いの実践の前後に生徒を対象とする意識調査を実施し、中学生の話し合い活動に対する構えを明らかにするとともに、話し合いを通じて意識がどのように変化するのかを分析した。調査は1年生94名、2年生87名の計181名

を対象とした悉皆の自記式質問紙調査である。質問紙の現物は本稿の巻末に掲載した。ここでは、原著論文で掲載できなかった調査結果について紹介していきたい。

(1) 中学生の話合い活動に対する構え

図1は、事前アンケートの結果をグラフに示したものである。原著論文では、このグラフから読み取れる4つの知見、すなわち、①中学生は「自分の意見を言うのは正直恥ずかしい」「自分の意見を他人がどう思うか気になる」の割合は高いこと。②半数が「生徒が司会をすると話合いはぐちゃぐちゃになると思う」と答え、「話合いで複数の案が出たときには多数決で決めたほうがよい」に関しては7割の生徒が多数決を支持していること。③「自分達で何かを決めるのはめんどくさい。先生が決めてほしい」と答える割合は低く、「自分達のクラスのことは自分達で決めたい」と答え

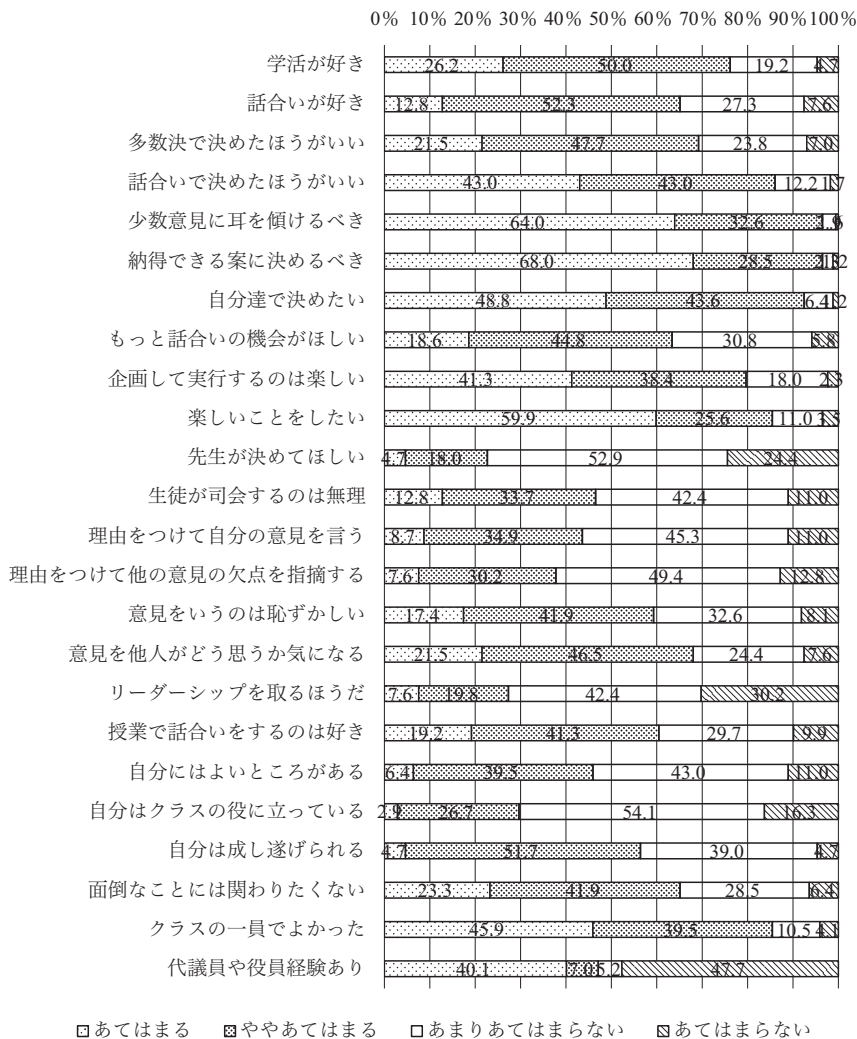


図1 話合い活動に対する中学生の構え

る割合は高く、自律性を求める生徒が大多数な一方、「面倒なことには関わりたくない」と答えるものの割合も高いこと。④「学級会での話し合い活動（クラスミーティング）が好きである」「もっと話し合いの機会があるとよい」「教科の授業でグループ活動（話し合い）をするのは好きだ」と答える割合は高く、話し合い活動に好感を持っていること、に言及した。

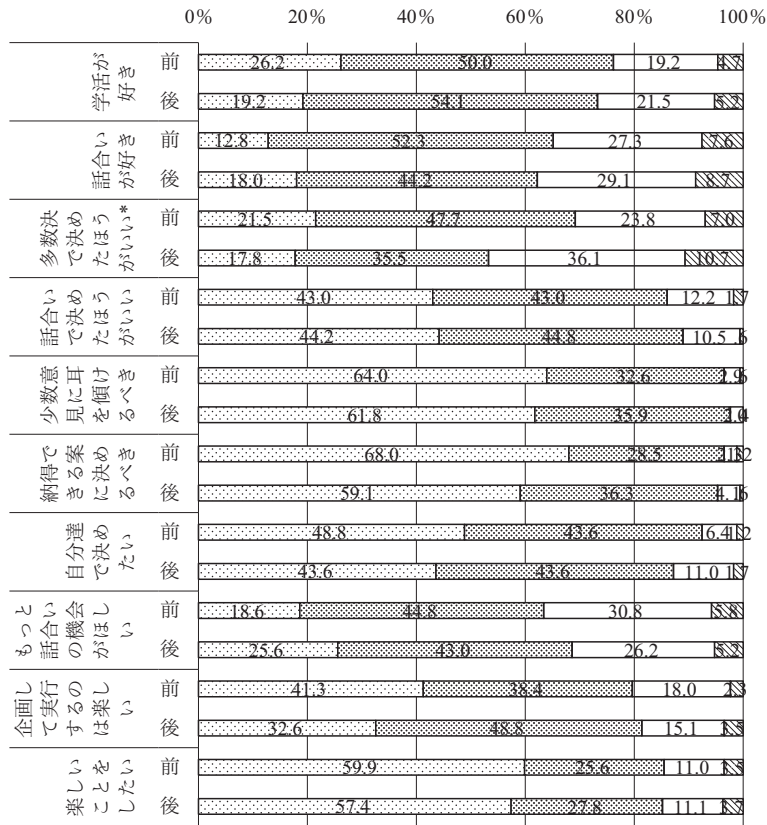
これらの知見以外に、読み取れることとして重要なことは、以下の2点である。

第一に、話し合いの方法やスキルに対する意識についてである。「話し合いで複数の案が出たときにはどれが一番よい案か話し合って決めたほうがよい」に「あてはまる」と答えたのは43.0%とやや低い。これは多数決を支持するものが多いことを反映したものであろう。一方で、「話し合いでは少数派の人の意見にも耳を傾けるべきだ」に「あてはまる」と答えたのは64.0%、「話し合いではみんなが納得できる案に決めることが大切だ」は68.0%であり、少数意見にも配慮しつつ、皆の納得を引き出す合意形成の重要性は感じているようだ。しかし、話し合いの重要なスキルである「理由をつけて自分の意見を言うことができる」に「あてはまる」と答えたのは、8.7%、「他の人の意見のよくないところを理由をつけて指摘できる」は7.6%で、「ややあてはまる」を加えても4割程度であり、経験不足からか、あまり自信がもてない様子である。

第二に、中学生の自己肯定感・自己有用感・自己効力感についてである。自己肯定感に関する「自分には良いところがあると思う」に対しては、「あてはまる」と答えたのは6.4%と極めて低く、「ややあてはまる」を加えても45.9%と半数に満たない。自己有用感に関する「自分はクラスの役に立っていると思う」に対しては、「あてはまる」と答えたのは2.9%と極めて低く、「ややあてはまる」を加えても29.6%と3割に満たない。自己効力感に関する「自分はやろうと思ったことを成し遂げることができる」に対しては、「あてはまる」と答えたのは4.7%と極めて低いが、「ややあてはまる」を加えると56.4%と半数となる。中学生の自己肯定感・自己有用感・自己効力感はおしなべて低い傾向が見て取れる。一方で、「このクラスの一員でよかった」に「あてはまる」と答えるものは45.9%、「ややあてはまる」を加えると85.4%となり、クラスが心地よい居場所となっている生徒が多いようだ。

(2) 話し合い活動前後の生徒の意識の変化

話し合いの前後で同じ10の質問に答えてもらい、話し合いの前後で生徒の意識にどのような変化が生じるかを調査した。図2はその結果をグラフに示したものである。この図2からは、2つのことが分かる。第一に、前後で回答に統計的な有意差がみられたのは1項目だけで、「話し合いで複数の案が出たときには多数決で決めたほうがよい」であり、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数値が、事前には69.2%であったのに対し、事後では53.3%に減少した (χ^2 値=13.405, df=6, p=.037)。これは、話し合いの経験を通じて、多数決によらない合意形成がありうることを感じた生徒が少なからずいたことを示している。



□あてはまる ■ややあてはまる ▨あまりあてはまらない ▩あてはまらない

図2 話し合い活動の前後で意見はどう変わるか

第二に、合意形成に至る話し合いにならず、司会が苦しんだクラスも少なくなかったため、話し合いや学級活動に否定的な意見が増加するのではないかと心配したものの、話し合い前後で統計的有意差が出たのは、上記の1項目だけであり、初めての学級会型の話し合い活動は、生徒の話し合いに対する構えに少なくとも否定的な影響を及ぼすことはなかった。

(3) 話し合い活動への取り組みと評価

図3は事後アンケートにおける「話し合いへの取り組みと評価」についての質問項目に対する生徒の回答分布を、グラフに示したものである。「事前に自分の考え（アイデア）を考えておくことができた」に「あてはまる」と答えたのが26.7%、「理由をつけて自分の意見を言うことができた」が28.2%、「他人の気持ちに配慮して発言することができた」は21.6%、「話し合いに積極的に参加することができた」は31.4%、「今日の話し合いはうまくいったと思う」は23.8%で、いずれの質問項目に対しても「ややあてはまる」を加えると、6割から7割の生徒は話し合いに積極的な態度で取り組めたようで、自分たちの話し合いがうまくいったと評価できているようだ。

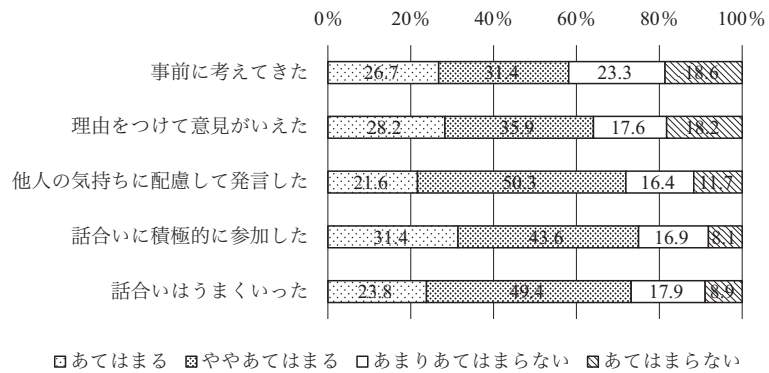


図3 話し合いへの取組みと評価

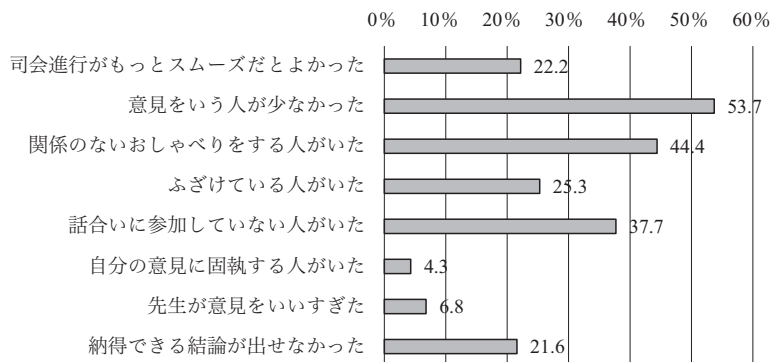


図4 話し合いの問題点

さらに、図4は「今日の話合いの問題点と思われるものすべてに○をつけてください」の質問項目に対する生徒の意見分布をグラフに表したものである。話し合いの問題点として挙げられたのは、多い順に「意見を言う人が少なかった（53.7%）」、「関係のないおしゃべりをする人がいた（44.4%）」、「話し合いに参加していない人がいた（37.7%）」、「ふざけている人がいた（25.3%）」、「司会進行がもっとスムーズだとよかった（22.2%）」、「納得できる結論が出せなかった（21.6%）」であった。

4. 生徒内分化に注目した分析

ここまでは、生徒を一枚岩としてとらえた分析であった。以降は、生徒内分化に注目した分析を2つ行っていきたい。ひとつは、話し合いが成功したと考える生徒と失敗したと考える生徒の意識の違い、もうひとつは、話し合いに積極的に取り組める生徒と消極的な生徒の特性の違いに注目した分析である。

(1) 話し合いが成功したと考える生徒と失敗したと考える生徒の意識の違い

「今日の話合いはうまくいったと思う」の問いを使い、この問いに「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた生徒を「成功したと考えるグループ」、 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた生徒を「失敗したと考えるグループ」と考え、両者において事後アンケートの回答分布に違いがあるかどうか分析した。図5-1は事後アンケートの回答分布を示すグラフであり、図5-2は事前アンケートにも回答差があったかどうかを、念のため確認するためのグラフである。

このふたつのグラフを見ると、失敗グループにおいて「学級活動の時間（学活の時

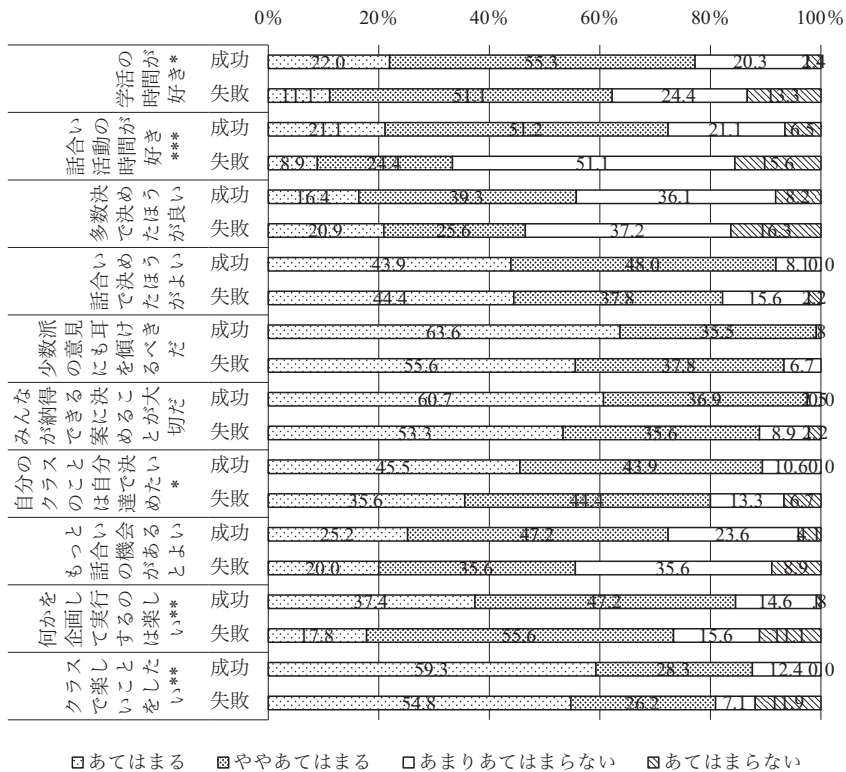


図5-1 成功グループと失敗グループとの比較（事後アンケート）

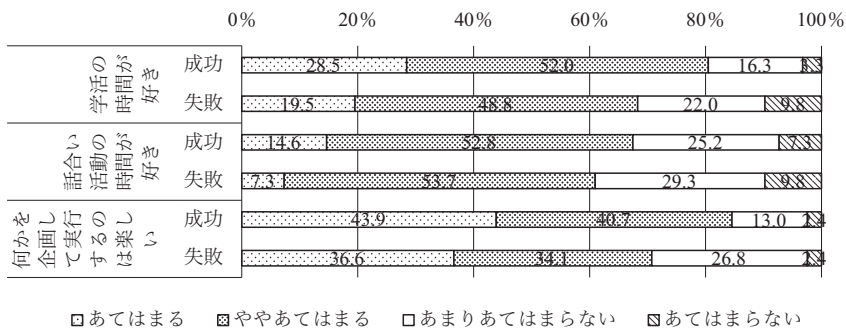


図5-2 成功グループと失敗グループとの比較（事前アンケート）

間・ロングホームルームの時間)が好きである」「学級会での話し合い活動(クラスミーティング)が好きである」「みんなで何かを企画して実行するのは楽しい」に「あてはまる」と答える割合が低下することが分かる。事前アンケートでも成功グループに比べて失敗グループではやや肯定的な意見が少ないものの、両者に統計的な有意差は認められなかったが、事後アンケートでは統計的に有意な差が認められるようになった。さらに、事前アンケートと事後アンケートのデータを比較すると、成功グループでは統計的な有意差が認められない一方、失敗グループでは「学級会での話し合い活動(クラスミーティング)が好きである」(値=7.916, df=3, p=0.048), 「みんなで何かを企画して実行するのは楽しい」(値=8.621, df=3, p=0.035)において活動後に肯定的な意見の割合が低下し、統計的に有意な差が認められた。

ここから分かることは、「話し合いが失敗した」という意識は、学活の時間や話し合いの時間が好きという気持ちを曇らせ、何かを企画して実行してみたいという意欲をも減じてしまう可能性があるということである。取り組み始めて間もない話し合いは失敗に終わることもあるだろう。それが生徒の失敗体験とならないように、積極的に意義づけるような教師の働きかけが必要となる。

次に、成功グループと失敗グループの「話し合いの問題点」の認識を比較してみた。図6は「話し合いの問題点」として指摘された割合を、成功グループと失敗グループで比較したグラフである。どの項目においても、失敗グループにおいて問題の認知の割合が高い傾向が認められる。特に「関係のないおしゃべりをする人がいた」「ふざけている人がいた」「話し合いに参加していない人がいた」という生徒の取り組み姿勢を問題視する割合が極めて高いこと、「みんなの納得できる結論が出せなかった」ことを問題視する割合が極めて高いことが見て取れる。失敗と評価する生徒は、話し合い活動への理想が高く、クラスの全生徒が積極的かつ正しい態度で話し合いに望むこ

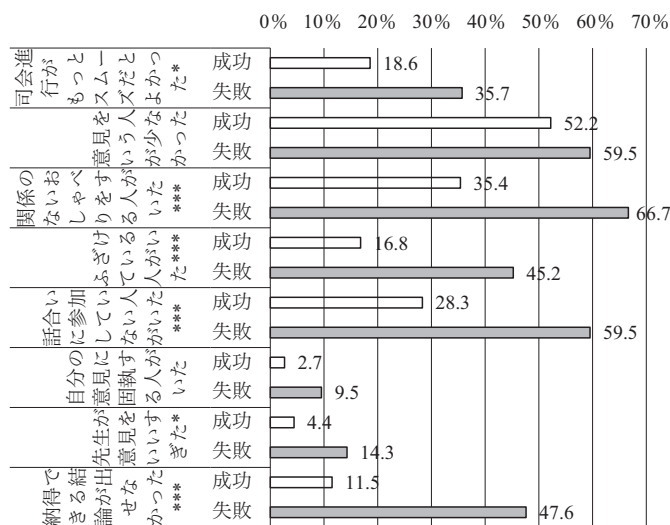


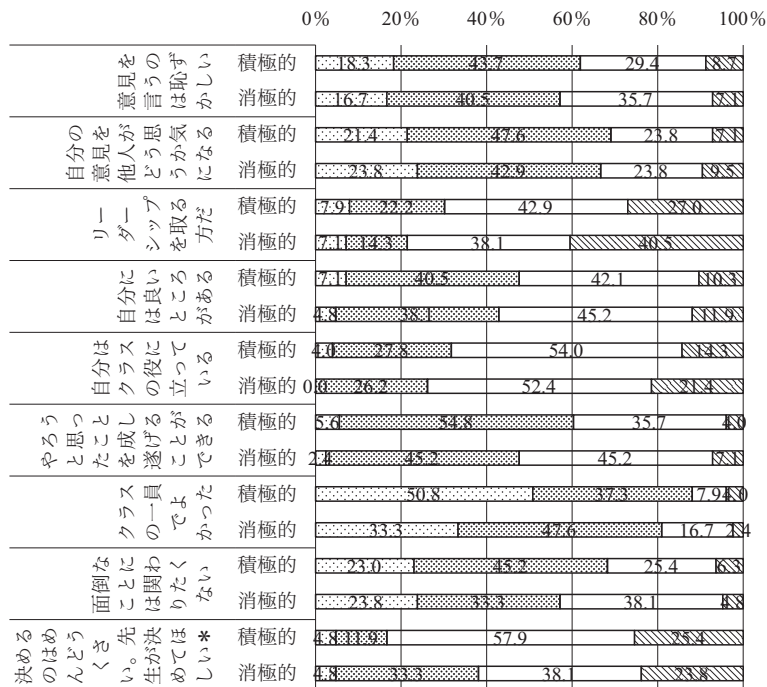
図6 成功グループと失敗グループの反省点の比較

と、そしてみなが納得できる合意形成が果たされることを目指していたがゆえに、そうならなかった現実で失望して、否定的な評価を下すことになったと推測することができる。

(2) 話し合いに積極的になれる生徒と消極的な生徒の意識の違い

生徒の話し合い活動を参観していると、積極的に取り組む生徒がいる一方、消極的な生徒もいる。どのような性質をもつ生徒が話し合いに積極的に、あるいは消極的になるのだろうか。そこで「話し合いに積極的に参加することができた」の項目を使い、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた生徒を「積極的グループ」、 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた生徒を「消極的グループ」に分け、意見の分布に違いがあるかどうかを検証した。

話し合いに消極的な生徒は、他者の視線が気になる子、自己肯定感・自己効力感・自己有用感の低い子、面倒なことには関わりたくない子なのではないかという仮説から、性格に関する質問への回答を、積極的グループと消極的グループで比較したのが図7である。意外なことに、最後の「自分達で何かを決めるのはめんどくさい。先生が決めてほしい」にのみ統計的な有意差が認められ、それ以外の項目では有意差はなかった。ここから他者の視線が気になり、あるいは自己肯定感・自己効力感・自己有用感が低いことと、話し合いに対する構えには相関はないが、自律性が低く依存的な



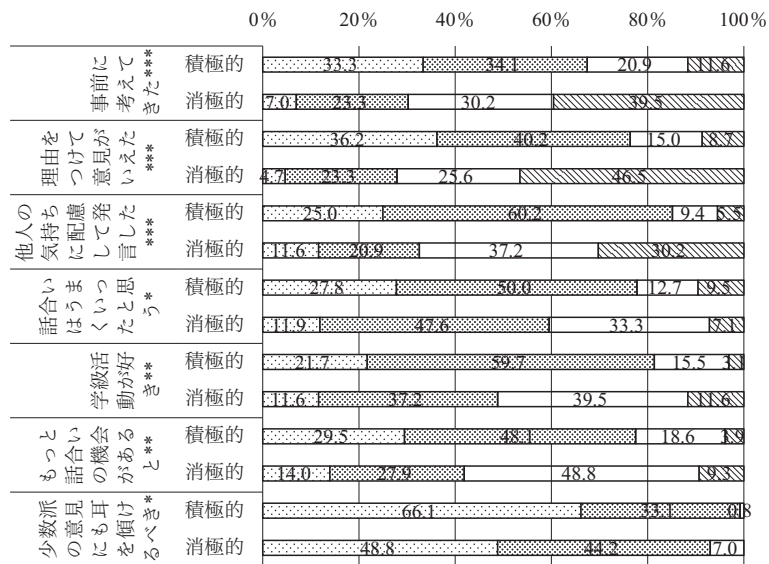
□あてはまる ■ややあてはまる □あまりあてはまらない ▨あてはまらない

図7 話し合いに積極的/消極的と「性格」

性質は話し合いに対する消極性と関連があることが分かった。

一方、話し合い活動への取り組み姿勢についての質問への回答を、積極的グループと消極的グループで比較したのが図8である。このグラフを見ると、積極的なグループでは、「事前に自分の考え（アイデア）を考えてくることができた」「理由をつけて自分の意見を言うことができた」「他人の気持ちに配慮して発言することができた」という話し合いへの取り組み姿勢に関する質問項目に対して、極めて肯定的であるとともに、「今日の話合いはうまくいったと思う」と考える割合も著しく高い。つまり、積極的グループの生徒は、実際に準備をしっかりと行い、話し合いの場面でも積極的・意識的に取り組めた生徒たちなのであり、そのようにコミットできたことにより、（話し合いが合意形成に至ったかどうかは別として）話し合いの目的は達成されたと肯定的に評価できるようになるのであろう。

さらに、事後アンケートで「学級活動の時間（学活の時間・ロングホームルームの時間）が好きである」「もっと話し合いの機会があるとよい」「学級会での話し合い活動（クラスミーティング）が好きである」「話し合いでは少数派の人の意見にも耳を傾けるべきだ」の各項目についても、積極的グループと消極的グループの間に統計的有意差が見られた。積極的に取り組めると、さらに話し合い活動が好きになり、少数派の人の意見に耳を傾ける重要性もさらに感じるようになるようだ。



■あてはまる ■ややあてはまる □あまりあてはまらない ▨あてはまらない

図8 話し合いに積極的／消極的と「取り組み姿勢」

5. 本報告の意義と今後の課題

本報告は、これまでほとんど研究の蓄積のなかった中学校での話し合い活動の実態と

生徒の意識を明らかにするものであった。平成29年3月に公示された学習指導要領の本文において、初めて「学級活動」の「3内容の取扱い」に「2の(1)³⁾の指導に当たっては、集団としての意見をまとめる話し合い活動など小学校からの積み重ねや経験を生かし、それらを発展させることができるよう工夫すること」と明記されたことから分かるように、今後は小学校での話し合い経験を、中学校でどのように発展させていくべきかを議論していかなければならない。この点を議論するためには、本研究の事前アンケートで「小学校の時に学級会で話し合いをよく行っていた」「小学校のとき学級会の話し合い活動に積極的に取り組んでいた」などの小学校での取り組み実態を聞く質問が不可欠であった。今回、これらの質問項目を設定しなかったことが最大の反省点である。今後はこの点を改良しつつ研究に取り組んでいきたい。

■注

- 1) 山田真紀「中学校における学級活動“話し合い活動”の導入に関するアクションリサーチ」『梶山女学園大学教育学部紀要』第13号、2020年3月。
- 2) 山田真紀・清水克博(2019) 小学校における学級活動「話し合い活動」の合意形成プロセスに関する実証的研究：逐語記録を用いた授業分析の手法を援用して。日本特別活動学会紀要、27：39-48。および、山田真紀・清水克博(2019) 小学校における学級活動「話し合い活動」の合意形成プロセスに関する実証的研究(2)：逐語記録とシーケンス構造図を用いた研究手法の開発。梶山女学園大学教育学部紀要、12：127-153。
- 3) 学級活動の内容には以下の3つの下位領域がある。(1)学級や学校における生活づくりへの参画、(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全、(3)一人一人のキャリア形成と自己実現。

【資料】

話し合い活動「事前アンケート」

年 組 出席番号

このアンケートはみなさんが学級活動や話し合い活動にどのような意見をもっているかを調べるものです。出席番号を書きますが、このアンケートが成績に関係することは一切ありませんので、正直にお答えください。

1. 次の質問のそれぞれについて、あなた自身やあなたの意見はどれにあてはまりますか？
あてはまる数字にひとつだけ○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	学級活動の時間（学活の時間・ロングホームルームの時間）が好きである。	1	2	3	4
2	学級会での話し合い活動（クラスミーティング）が好きである。	1	2	3	4
3	話し合いで複数の案が出たときには多数決で決めたほうがよい。	1	2	3	4
4	話し合いで複数の案が出たときにはどれが一番よい案か話し合っ て決めたほうがよい。	1	2	3	4
5	話し合いでは少数派の人の意見にも耳を傾けるべきだ。	1	2	3	4
6	話し合いではみんなが納得できる案に決めることが大切だ。	1	2	3	4
7	自分達のクラスのことは自分達で決めたい	1	2	3	4
8	もっと話し合いの機会があるとよい。	1	2	3	4
9	みんなで何かを企画して実行するのは楽しい。	1	2	3	4
10	クラスでもっと楽しいことをしたい。	1	2	3	4
11	自分達で何かを決めるのはめんどくさい。先生が決めてほしい。	1	2	3	4
12	生徒が司会をすると話し合いはぐちゃぐちゃになると思う。	1	2	3	4
13	理由をつけて自分の意見を言うことができる	1	2	3	4
14	他の人の意見のよくないところを理由をつけて指摘できる。	1	2	3	4
15	自分の意見を言うのは正直恥ずかしい。	1	2	3	4
16	自分の意見を他人がどう思うか気になる。	1	2	3	4
17	グループ活動ではリーダーシップを取るほうだ。	1	2	3	4
18	教科の授業でグループ活動（話し合い）をするのは好きだ。	1	2	3	4
19	自分には良いところがあると思う。	1	2	3	4
20	自分はクラスの役に立っていると思う。	1	2	3	4
21	自分はやろうと思ったことを成し遂げることができる。	1	2	3	4
22	面倒なことには関わりたくない。	1	2	3	4
23	このクラスの一員でよかった。	1	2	3	4
24	これまで学級委員や代議員・生徒会役員をしたことがある。	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました！

「話し合い活動」の振り返りカード

年 組 出席番号

1. 今日の話し合い活動であなたは次のことをすることができましたか？

あてはまる数字にひとつだけ○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	事前に自分の考え（アイデア）を考えてくることができた。	1	2	3	4
2	理由をつけて自分の意見を言うことができた。	1	2	3	4
3	他人の気持ちに配慮して発言することができた。	1	2	3	4
4	話し合いに積極的に参加することができた。	1	2	3	4
5	今日の話し合いはうまくいったと思う。	1	2	3	4

2. 次の質問のそれぞれについて、あなた自身やあなたの意見はどれにあてはまりますか？

あてはまる数字にひとつだけ○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	学級活動の時間（学活の時間・ロングホームルームの時間）が好きである。	1	2	3	4
2	学級会での話し合い活動（クラスミーティング）が好きである。	1	2	3	4
3	話し合いで複数の案が出たときには多数決で決めたほうがよい。	1	2	3	4
4	話し合いで複数の案が出たときにはどれが一番よい案か話し合っただけで決めたほうがよい。	1	2	3	4
5	話し合いでは少数派の人の意見にも耳を傾けるべきだ。	1	2	3	4
6	話し合いではみんなが納得できる案に決めることが大切だ。	1	2	3	4
7	自分達のクラスのことは自分達で決めたい	1	2	3	4
8	もっと話し合いの機会があるとよい。	1	2	3	4
9	みんなで何かを企画して実行するのは楽しい。	1	2	3	4
10	クラスでもっと楽しいことをしたい。	1	2	3	4

3. 今日の話し合いの問題点と思われるものにすべてに○をつけてください。

- ・司会進行がもっとスムーズだとよかった。
- ・意見をいう人が少なかった。
- ・関係のないおしゃべりをする人がいた。
- ・ふざけている人がいた。
- ・話し合いに参加していない人がいた。
- ・自分の意見に固執する人がいた。
- ・先生が意見をいいすぎた。
- ・みんなの納得できる結論が出せなかった。

裏にもあります

4. 今日の話合いの感想を自由に書きましょう。

5. 今日の司会班へのメッセージ（この欄だけ切り取って司会班に渡します）

以上です